

2020年度秋季関東大学バレーボール

男女代替大会 開催要項

主 催	一般財団法人関東大学バレーボール連盟
主 管	一般財団法人関東大学バレーボール連盟
後 援	公益財団法人 東京都バレーボール協会

今大会は2020年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦の代替大会である。

I：試合日程及び運営

- 1、開催期間 2020年10月3日（土）～11月22日（日）
3部以下の大会開催について、10月3日（土）～12月20日（日）とする。
この際、十分にガイドライン・感染症対策を行って実施する事。
- 2、入 場 料 新型コロナウイルス感染症により無観客とする。
- 3、大会運営及び日程・会場 (1) 学連員を中心に参加者が協力し合い試合を円滑に行うように心がけること。
(2) 日程・開催会場は各部で決定する。
(3) 会場入場時間は1試合目のチームは9時30分、2試合目のチームは13時とする。（ただし会場によって異なる場合もある）
- 4、開会・閉会式 (1) 開閉会式、表彰式は行わないこととする。
個人賞についてはウェブ・SNSで発表し、表彰物は後日郵送する。
また今大会はベストスコアラー賞などの数値で出す個人賞はなしとする。
(JVIMS 判定はなしとする)
- 5、流行性疾患及び災害時の対応 (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について
公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開時のガイドライン」一般財団法人関東大学バレーボール連盟「代替大会開催におけるガイドライン」を遵守すること
(2) 新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者に以下の取組を定める
○大学スポーツ協会による「ONE TAP SPORTS」の『体調チェック機能』により各チーム体調の管理をして大会に参加すること。
○参加するにあたり、厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触アプリ「COCOA」をインストールし、正常に動作するように設定する事。
(Bluetooth をオンにしておくこと)
※上記に関して、こちらが指定した紙媒体でも行う事を可能とする
(3) インフルエンザ・コロナウイルス等の流行性疾患発症の場合は速やかに学連に報告すること。
(4) 多数のチームで多数の選手・スタッフが発病している場合や災害等が発生している

場合は、学連〈競技委員長〉が、チーム状況を十分に把握したうえで、延期や中止するか否かを判断し、延期・中止決定の場合は速やかにホームページに掲載する。

※大会期間中、コロナウイルス感染者及び濃厚接触者が確認された場合、保健所の指示に従い、保健所からの許可が下りれば大会の参加を認める。また、大会運営者は濃厚接触者等の確認・伝達を行う。チーム関係者は、該当者について学連に随時経過観察を報告することとする。陽性者・濃厚接触者については、保健所からの許可が下り、所属大学から参加を許可された場合は大会への復帰を認める。その他、各大学の状況を見ながら、中止や延期の判断を決定する。

- (5) 学連はチーム状況を把握のうえ、試合再開の日程(平日を含む)、会場審判員の確保等の準備ができ次第、速やかに試合日程をホームページに掲載する。
- (6) 日程等の調整のうえ極力全日程の消化に努めるが、競技委員会で以降試合の続行が不可能と判断された場合や、途中で棄権チームが多数発生し以降すべての試合に参加できない場合はその時点で大会は中止とする。

【男子】

全チームが全試合を終了していれば公式な順位をつけることとする。

また、大会期間中に棄権チームが1, 2週等のみの棄権でその後出場可能になった場合は、予備日を使い極力全日程の消化に努める。

【女子】

大会期間中に試合を棄権するチームは一旦不戦敗（相手校は不戦勝）とするが、その後出場可能になった場合は予備日等（平日を含む）を使い極力全日程の消化に努め、試合を行い成立すれば不戦勝・不戦敗は、勝利または敗戦となる。

全チームが70%以上の試合を終了していれば公式な順位を付ける事が出来る。

- (7) 延期された場合の試合の調整は競技委員会及び学連委員が行う、複数の延期の試合がある場合は、当初の対戦順に従って日程を決める。ただし、大幅な延期になった場合は、競技委員会で審議し、理事長決裁により取り扱いを決定する。
- (8) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項（誘導）に従って適切な行動をとること。
- (9) 大会2週間前から大会終了後2週間の期間に新型コロナウイルスの感染を疑う症状または発症した場合は保健所に確認の上、濃厚接触者の有無等について学連に速やかに報告すること。

また、経過観察について、以下の専用窓口にて随時報告する事。

○ 感染症対策窓口：health@juvf.jp

大会当日、受付にて会場に入場する方を対象に非接触型体温計で体温を測らせて頂きます。ご協力のほど宜しくお願い致します。また、会場のあらゆる場所にハンドソープや消毒液を準備しておりますので、積極的にご使用ください。

II：大会参加資格

1、チーム参加資格 下記の条件を満たしていること。

- (1) 2020年度（公財）日本バレーボール協会(JVA)登録規定により大学として登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- (2) チームに在籍している学生はJVA個人登録（MRS）の登録者であること。
- (3) 2020年度（一財）関東大学バレーボール連盟、2020年度（一財）全日本大学バレーボール連盟の加盟校および登録者であること、また本大会にエントリーさ

れていること。

- (4) Iの5(1)の条件を満たしている事。
- (5) リーグ戦の選手登録の回数制限(年間2シーズン制の場合)について。大学の最短修学年数の2倍の回数内とする。(リーグ戦が春秋と1年に2回開催されるため)
※2年制大学は4回、4年制大学は8回、6年制大学は12回
学連登録年数は大学最短修学年数とする。
- (6) 大学院生、聴講生等は選手登録を認めない。
- (7) チームの選手登録数が6名以上でチーム登録が認められる。
- (8) 例年、チームに必ずC級以上の審判資格を所有した者がチームの構成員に在籍していることとしていたが、今年度審判講習会が開催されていないため、審判資格を持っていないチームの場合参加を認める。
また、各チーム1名の学生審判員を帯同させることとする。

2、大会出場の選手 スタッフ手続き

- (1) スタッフ・選手はチームからのエントリー届に基づきプログラム(下部パンフレット)に記載されていなければならない。
- (2) スタッフ・選手のエントリーの人数は部長(大人であり当該大学教職員)、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー(当該大学生であり女子部に男子のマネージャーは認められない)各1名、選手のエントリー人数は99人までとする。
- (3) プログラム(下部パンフレット)に記載されていないスタッフ、選手は試合前に提出する「構成メンバー表」用紙に記載することはできない。
- (4) スタッフ・選手の追加エントリーの手続きは以下(①または②)の手順を行い、プログラム(下部パンフレット)に追加記載されて完了する。
 - ① 登録していない、またはエントリーされていない学生は追加登録原簿(Excel)、JVA登録(MRS)加入選手一覧(pdf)、追加エントリー届(Excel)を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。
 - ② 登録していない、またはエントリーされていない大人のスタッフ(在学生以外)は追加登録原簿(Excel)、追加エントリー届(Excel)を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。
- (5) 部長以外のスタッフを変更し試合に出場する場合は、大会当日、本部に臨時役員変更届を届けて許可を得ること、構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する。ただし、特段の理由がある場合に限る。
(選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、臨時役員変更届を本部に提出する事)
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策とし、チーム関係者(選手・スタッフ・アナリスト等)が会場に入場できるのは30人までとし、試合終了後は速やかに会場から出ることをとする。
ただし、自チームの試合前・試合後の試合のデータを取る際は3名(データ収集2名・監督等1名)まで、他会場でデータを取る際は2名までとする。
※補助役員として学連から依頼された学生及び会場校の大会運営を手伝って頂く学生については上記の30人に含まないものとする。

Ⅲ 大会申し込み手続き

※エントリー提出にあたり、開催要項・運営ガイドラインを熟読し了承の上で書類を提出してください。

1、エントリーについて

締切り日【2020年9月26日（土）18時まで】

※エントリー届を提出し、受付後の変更はどのような理由があっても、一切認めないので注意すること。

- (1) 原則としてエントリー締め切り期日までに間に合わない場合は、参加を一切認めず自動的に棄権となる。
- (2) エントリー締切り後に、新入生の入部を確認した場合は追加登録・追加エントリーを必ず行うこと。(Ⅱ2(4)に記載)
- (3) 棄権すると分かった時点で学連に連絡し、棄権届を学連事務所に郵送すること。
- (4) 追加登録・追加エントリーの期間は以下の通りとする。
10月28日（水）18時迄（11月以降の試合に出場可能）

2. チーム参加料

- (1) 参加校 各チーム7万円（事前に振り込み）

【2020年9月30日（水）18時】までに以下の口座に振り込むこと。

三井住友銀行 神田駅前支店（店番220）
預金種別 普通預金
口座番号 1954081
一般財団法人関東大学バレーボール連盟
※一度振り込まれたお金は返金いたしません。

3、写真について

新型コロナウイルス感染症対策として、今季は集合写真はなしとする。
個人写真は直轄リーグのみ撮影すること。

Ⅳ 競技・審判

- 1、競技規則 本大会は2020年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2、競技方法

- (1) 競技方法については以下の通りに行うこととする。

【男子】

昨年度秋季リーグ戦の試合成績でA・Bグループに分け、各グループで総当たり戦後、AB同じ順位同士で順位決定戦を行う。

【女子】

女子1部12チームの総当たり、女子2部8チームの総当たり

- (2) 感染症対策として複数の会場で試合を行う。

- (3) 全試合5セットマッチとする。
- (4) 給水の為のタイムアウトについて
 - ①熱中症防止の観点から、室内温度が30度以上になることが予想される場合は、試合開始前に、給水タイムアウトを採用することを各チームに伝える。
 - ②チームスタッフは給水タイムアウト時には、選手と控え選手に接触(選手への声掛け等)をしてはならない。接触した場合は注意事項となる。
- (5) セット間に選手・スタッフは手指等の消毒を行うこと。

3、新型コロナウイルス

感染症対策 公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開のガイドライン」と学連の「運営ガイドライン」を遵守すること。

4、競技開始時刻

- (1) 1試合目11時開始、2試合目は14時30分試合開始とし、2試合目のチームは45分間のコート練習を行える。但し会場によって異なる場合もある。
原則として毎試合終了後の換気・消毒を15分以上行うこと。
(前試合の補助役が行う)
換気・消毒を行っている際はフロアでのクールダウンを許可する。
1試合目が時間を押し、2試合目が設定時刻に開始できない場合は学連よりアナウンスを行う。
- (2) 大会期間中プロトコールは第一試合に限り開始設定時刻より11分前に開始する。
- (3) チームが正当な理由なしに、定められた時間までに(選手が6人以上)競技場に現れない場合は、不戦敗となる。
 - ① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より15分後までとする。
 - ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より15分後までとするため、試合の進行状況を確認すること。
 - ③ 試合の進行状況によっては、コートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意すること。

5、試合使用球

- (1) 本大会は、男子がミカサ製カラーボール(V300W)、女子はモルテン製カラーボール(V5M5000)を使用する。

6、組合せ

- (1) 試合組合せは昨秋の試合結果に基づき作成する。試合の順番が偏らないように配慮して作成する。
- (2) 公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開時のガイドライン」より、1コート4チーム、1日2試合までとする。

7、審判員

- (1) 主審・副審は派遣するが、派遣する審判員が足りなくなった場合、補助役員に当たるチームの審判資格取得者が主審もしくは副審を担当することもある。
- (2) ラインジャッジ、点示、記録員、リベロチェック、ボール・リトリバーは各チームより選出する。その際マスクを着用し、ビニール手袋を着用する、こまめにボールを拭く等感染症対策をすること。(ビニール手袋は学連で配布)

8、競技選手・スタッフ

メンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ① エントリーする18名(選手14名+ベンチスタッフ4名)をコンポジションシートに青ペンで記載し、本部へ提出すること。
 - ② 第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部受付へ提出すること。
 - ③ 第2試合日以降は、会場入場後に本部受付へ提出すること。
2試合日以降のチームは、前の試合開始前に提出しないこと。
 - ④ 構成メンバー表提出後の変更は認めない。
 - ⑤ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a.特段の理由がある時は、臨時役員変更届にて学連担当者に申し出ること。
 - b.スタッフの登録を定められた期限までに完了していること。
 - ⑥ 部長はチームスタッフではないため、監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとして、ベンチに入ることはできない。但し、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入れる。部長としてベンチに入る者はチームスタッフとしての行為をできないものとする。
- (2) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて13名以上、選手エントリーするときは2名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない。
- (3) 当日はエントリーする18名(選手14名+ベンチスタッフ4名)を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。
- (4) 学生以外のスタッフについては、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は、男女どちらか1つのチームにエントリーを行うこと。又は代理人(スタッフ、エントリー者に限る。)を立てる等の処置を取ることができる。

9、選手交代の手順

- (1) 各セット開始前に提出されたラインアップシートの変更は、副審が記録員に手渡した後は認められない。
- (2) 選手交代を要求するときは、交代選手がサブスティチューションゾーンに入る。複数の場合は、同時にサブスティチューションゾーンに出向く。その際、選手が準備できていない場合は拒否される。(その際遅延の罰則を適用されることが有る。)
 - ① 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入った場合は、不当な要求で拒否される。
 - ② 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入り副審がホイッスルした場合でも、遅延の罰則となる。
- (3) 副審が許可した後、選手交代をキャンセルした場合は、遅延の罰則が適用される。
- (4) 交代する選手は、サイドライン上で副審の指示に従い合図によって交代する。
- (5) 記録員は記録用紙への記入が完了したら両手を挙げる。
- (6) 複数の選手交代の場合は副審の指示に従うこと。

10、選手・スタッフの途中参加

- (1) 選手・スタッフの試合中の途中参加はその都度できる。
(遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。)
 - ① 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことを審判にラリー間に伝え審判が確認した時点から、権利を行使することができる。監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインする。
 - ② 監督以外のスタッフ・選手も途中参加することができる。

11、公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習は全日程、サーブ権を得たチームからそれぞれ、1試合目は1チーム3分間ずつ、合同練習の場合は6分間とする。2試合目以降は45分間のコート練習後、5分間ずつ、合同練習の場合は10分間とする。
※換気・消毒中はフロアに入れないこととする。
- (2) 公式練習からベンチに着席を認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者最大14名のみが参加することができる。クイック・モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第1セットのラインアップシートを副審または記録員に提出すること。但し、副審が記録員に手渡した後、ラインアップシートの改正は認めない。
- (4) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- (5) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（クイック・モッパ―を含め3名）を配置すること。ただしボールキーパーは、他コートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切認められない。
- (6) ボールカゴ及び部旗等は、公式練習後に競技エリア外へ出すこと。(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗を壁に立てかけず、床に倒して置くこと。
- (7) ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。
- (8) 感染症対策として、タオル・ボトル・アイシングバッグは共用を禁止する。

12、ユニフォーム について

- (1) ユニフォームナンバーについて
 - ① ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが15cm以上、背部側は高さが20cm以上であり、文字幅は2cm以上のものでなければ着用を認めない。
 - ② ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色(はっきりと区別がつく色)と明るさでなければならない。
- (2) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (3) ソックスについては長さとし、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない。
- (4) アンダーウォーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。

(膝関節の医療用装具を除く。)

- (5) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつく色(対照的な色)でなければならない。(例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする)
リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (6) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (7) 正規登録のリベロは、リベロ・ビブスの着用は認められない。
- (8) エントリー届提出後、大会期間中の選手のユニフォーム番号の変更は一切認めない。(エントリーと異なる番号のユニフォームを着用し試合に出場した場合没収試合とする)
 - ① 1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき1選手とする。
 - ② 使用するユニフォーム番号は1～99番とする。

13、リベロ・プレイヤー の取扱いについて

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
- (2) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)が、主審の許可を得てベンチ入りしているプレイヤーをリベロとして再指名することができる。(リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い)。
- (3) リベロと再指名されたプレイヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレイヤーには戻れない。
- (4) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
- (5) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
- (6) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名したときは、この要求を認めるが、チームキャプテンはリーダーとしてのすべての権利を放棄しなければならない。
- (7) 監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する(ハンド・シグナルは示さない)。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレースメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていないと認められない。(再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る)しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。

- ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。
セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
- ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

14、ワイピング行為 について

- (1) クイック・モッパーは当該チームから2名まで配置することができる。
服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので待機すること。
- (2) クイック・モッパーがいない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モッパーが必ず行うこと。
- (4) クイック・モッパーが応援及びチームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) 感染症対策として、クイック・モッパーは自チームベンチの反対側で十分な間隔を取って待機すること。選手との接触は可能な限り避けること。

15、競技全般の不法 行為の取扱い

- (1) 2020年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に登録されていない学生、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていない大人、エントリーされていない選手・スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。
(ルールブックに記載)
 - ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 不法な行為については、同一人物の同一試合での繰り返し行為には、累進的な制裁を受ける。

- ① 「非スポーツマン的行為」及び「不法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。

原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。

(例)

- ・警告：ステージ1 口頭での警告
- ・警告：ステージ2 イエローカードでの警告
- ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点与える
- ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す（そのセット終了までペナル

ティ・エリアに座る)

・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）

- ② 「攻撃的行為」については、1回目で失格とする。

16、試合前の待機中

のチームについて

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、換気・消毒作業後、学連員の指示があるまでフロア外に待機すること。
- (2) アップ・ストレッチはフロアに入ってから始めること、フロア外でのアップ・ストレッチは禁止とする。

17、部長・チーム

スタッフについて

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長・マネージャー以外の全ての役職を行うことができる。
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生は、(公財)日本バレーボール協会、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた、統一された服装とする。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合、競技委員長の判断により緩和することができる。
※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (5) 試合中の中断の要求ができるのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (6) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。
- (7) 審判員の判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (8) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。(相手チーム選手の番号や名前を特定する行為)このような行為は制裁の対象となる。
- (9) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章(部・監・C・T・M)を付けなければベンチに入ることができない。※ただし、左胸につけること。

18、応援について

応援を行う際はマスクを着用し、十分な間隔を取ること。

また、大きな声での応援は禁止とする。

その際、熱中症対策としてこまめな水分補給を心掛けること

19、学生補助役員

- (1) 学生補助役員は14名（記録員1名、リベロチェック1名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名）で行う。
補助役員を行う際はマスクの着用をする、学連から手袋をもらう、ボールをこまめにアルコール除菌する（こまめに濡れタオルで拭く）など感染症対策をすること。
- (2) 学生補助員については同一会場の対戦校の両チームが担当する。
（記録員1名、リベロチェック1名、ラインジャッジ4名、）
（点示2名、ボール・リトリバー6名）
但し、1日1面1試合（延期試合を含む）場合、点示2名、ボール・リトリバー6名は試合を行うチームのメンバー外の学生が行っても良いこととする。
また、その際の学生補助役員は各大学の派遣員（学連サポーター）が担当する。
※その際の交通費は学連が負担する。
- (3) 第1試合の学生補助役員はプロトコール10分前までに記録席に集合すること。
- (4) 第2試合以降の学生補助役員は前試合終了直後の担当となるため速やかに記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジは審判員の一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。
- (8) 人数が不足する場合は、対戦する相手チームに協力を依頼すること。
- (9) チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。

20、規律委員会 について

規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。

21、棄権・没収 の取扱い

- (1) 今大会では棄権したチームは各部最下位や最下部最下位に降格しないこととする。
- (2) 全試合棄権する場合は、棄権することが分かった時点で学連に連絡し、学連事務所に棄権届を郵送すること。
- (3) 感染症を理由とする棄権以外の大会開催以降の棄権、または没収試合に関しては棄権をしたチーム、没収試合の対象となるチームの得点を0点とし、セットカウント0-2または0-3とし負けとなる。

22、リーグ戦の 順位決定方法

- (1) 勝敗が同じの場合
セッ
ット率 $\frac{\text{総得セット}}{\text{総失セット}}$ この算出方法で高い方が上位とする。

(2) セット率も同じ場合

得点率 $\frac{\text{総得点}}{\text{総失点}}$ この算出方法で高い方が上位とする。

(3) 得点率も同じの場合

① 2チームの場合は当該校同士の試合の勝ちチームが上位。

当該校同士が棄権、没収の場合は前季リーグ戦の成績順位により決定する。

② 3チームの場合は前季リーグ戦の順位により決定し再試合は行わない。

23、入替戦

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、参加できなかった、あるいは不参加を選択したチームの権利を守るため、今季は昇格、降格を伴う入替戦・自動昇格・自動降格を行わない。

V、会場使用上の注意

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。不明な点は学連担当者(代表校)に尋ね適切に行うこと。
- (2) 会場に出たごみは各チーム(各自)責任をもって持ち帰ること。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止する。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しない。また、鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用してください。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。
- (3) 今回、感染症対策の一環としてフロアでの撮影を禁止し、ギャラリーでの撮影のみ認める。ギャラリーでの撮影の際は周囲と十分な距離を保つこと。
- (4) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
- (5) 喫煙については各施設の利用規則を厳守すること。
- (6) 飲食する際は手洗い・うがい・手指の消毒を行い3密を避けること。
- (7) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わない。各チーム荷物の管理は徹底すること。また、忘れ物・紛失物に関しては各会場受付にて管理する(リーグ戦開催中のみ)。貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (8) チームの荷物の置き場は、各会場にて学連員に確認すること。翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して最小限のスペースに収まるよう協力し、アルコール除菌等により清潔にして帰ること。チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても、当連盟では一切の責任を負わない。

- VI、その他
- (1) 今大会参加前に可能であれば、エントリー選手は健康診断を受けること。また、ガイドラインで示されている事項について、必ず実施して参加すること。
選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
 - (2) 今大会の期間中に選手が負傷した場合、第一義的にはトレーナーが行うこと。
応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。
以後の責任は負いません。
 - (3) 2020年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則、(一財)関東大学バレーボール連盟開催要項事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。

代替大会に関する問い合わせ先

一般財団法人関東大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町4-6 風月堂ビル405号室

TEL:03-5244-4804 (受付時間は20:00までとする)

現在、学連事務所での電話での対応は行っておりません。

ご意見やご不明点に関しては、下記のメールアドレスにて申しつけ下さい。

E-mail : info@juvf.jp

HP : <http://kanto.volleyball-u.jp/>